

- **Query** 宛先局の「ステータスメッセージ」を返信してきます。問合せ発信時のデジパスの指定が可能です。
- **DX?** 宛先局がRFで通信できる最も遠距離の局の座標、宛先局から最遠局までの距離を返信してきます。

[参考]

当然のことながら、相手局が運用中であり、且つ宛先局と通信経路が確保されている場合のみ返信を受け取ることが出来ます。

[Options] <図65>

リスト表示に関するオプション設定項目です。リスト表示を右クリックすることによっても、このメニューを開くことができます。

• **Auto Sort**

自動整列の設定です。受信時刻、コールサイン、距離それぞれにより整列できます。APRS-ISに接続している時は、自動整列は行われません。

• **Font**

項目とデータそれぞれのフォント、スタイル、サイズを設定できます。

• **Grid Lines**

一覧表の格子線表示に関する設定です。

• **Colors**

各文字、背景の色の設定です。

[その他の機能]

• **表示列幅変更**

各列は、項目欄の仕切り線をドラッキングすることで表示横幅を変更できます。幅を「0」にすることでその項目を表示させなくすることができます。

• **整列**

表の項目名をクリックすることにより、その項目内容で全体を手動整列できます。

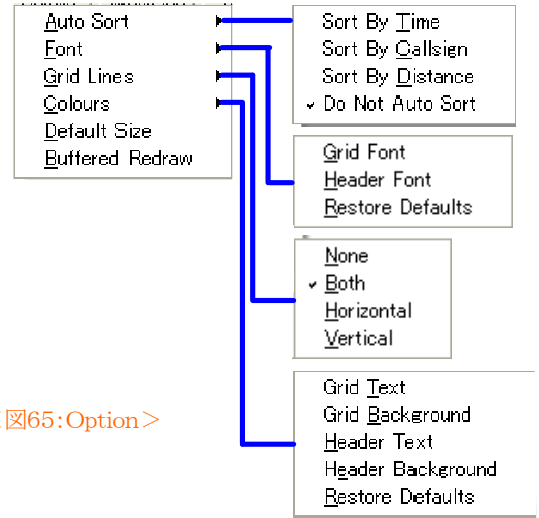
これらの設定は、[Option]の[Default Size]を選択することで元に戻すことができます。

• **局検索**

リスト上(任意の位置)で3秒以内でコールサインを入力すると、そのコールサインを検索することができます。「Cursor」キーまたは「Esc」キーで検索機能はキャンセルされます。

• **項目表示順変更**

表の項目名をドラッグすることで、項目の表示順序を変更できます。



<図65:Option>

10. Terminal <図66>

通信内容を表示する「Terminal Window(ターミナルウインドウ)」について説明します。

初期設定では、UI-VIEW32によって行われたすべての通信を表示します。

「Main Screen」→「Setup」→「Comms Setup」の「Host mode」で「NONE」を使用している場合は、下段にTNCのコマンドライン用の入力スペースが表示されています。ここでTNCにコマンドを送ることが可能です。